



11月 たんぽぽぐみだよ

2020.11 尚徳福祉会 日野保育園

朝夕は、空気が冷たく肌寒くなってきましたが、昼間はぽかぽかと太陽のぬくもりを感じ、戸外で過ごすことが気持ちの良い季節になってきました。公園へ行くと、赤や黄色に色付いた落ち葉やドングリを見つけて、嬉しそうに手にしたり、ふかふかな芝の上を気持ち良さそうに走ったりしています。子どもたちならではの発見に共感しながら、秋の自然物に触れたり、のびのびと体を動かしたりして遊んでいきたいと思えます。



☆子どもたちの姿☆

お友達や保育者と追いかっこをしたり、少し段差のある所から跳んだり、以前よりも動きがダイナミックになってきました。体を動かして遊ぶことが好きな子どもたちは、赤や黄、青の輪を一列に並べた所を「ぴよんぴよん！」と言いながらリズムカルに飛び跳ねたり、子どもたちで並べて作った箱積み木の平均台をゆっくり渡ったりしています。また、廊下に手作りの滑り台を用意すると、嬉しそうに階段をよじ登り、「しゅー！」といいながら勢いをつけて滑ることも繰り返し楽しんでいます。今後も、子どもたちの「やってみよう！」という好奇心や興味に合わせて、走る、跳ぶ、登るなど、全身を使って遊ぶことを楽しんでいきたいと思えます。



☆「じぶんで！」やってみよう☆

衣服の着脱などの際に、保育者が何気なく手を差し伸べると「〇〇ちゃんがやるの！」「じぶんで！」と言って自分の身の回りのことをやってみよう、という姿が増えてきています。個々の姿に応じて、保育者が傍で見守ったり、やり方を分かりやすく知らせたりしています。難しい所や、思うようにできず、困っている時には、自分でできた！という満足感を感じられるよう、さりげなく手助けをしています。そして、できた時には保育者と一緒に喜び、次も自分でやってみようという意欲に繋げています。

自分でやってみようという意欲を大切にしていきたいと思えますので、自分で着脱のしやすい衣服や靴下、靴などの準備をよろしくをお願いします。



防災訓練

先日、避難訓練を行いました。サイレン音を聞くと、すぐに保育者の傍に集まり、静かに話しを聞いたり、防災頭巾を自ら被ったりと落ち着いて避難していました。避難するということが少しずつ身に付いており、子どもたちの成長に驚かされました。



- ・外遊び用上着は、危険防止の為フードのないものをご用意ください。また、毎週金曜日には持ち帰っていただき、洗濯をお願いします。
- ・爪が伸びていると思わぬ怪我に繋がるので、角を丸く削り、短く切って下さい。